



ROTARY CLUB OF YATSUSHIRO MINAMI BULLETIN

◇創立 昭和51年3月9日 ◇承認 昭和51年3月18日 ◇日本RC承認順位 1305番 ◇RIクラブNo.: 14933

◇例会日 毎週火曜日 ◇例会場 八代グランドホテル 八代市旭中央通り10 年度No.11

会長 鶴田 善久 幹事 谷川 裕一朗 編集者 塚本 慎一郎 令和3年2月16日発行



ロータリーは機会の扉を開く ROTARY OPENS OPPOTUNITIES

2020-2021年度
RI会長
ホルガー・クナーク

Holger Knauth

2月9日例会（第2131回）記録

司会 緒方SAA・鶴田会長

四つのテスト 唱和

歌 国歌「君が代」

Rソング「我等の生業」

来訪者 許瀛君（米山奨学生）

下田会員令嬢

米山奨学金贈呈 許瀛君へ

親睦活動委員会 緒方SAA

1・2月誕生祝の会員

1月6日 前田会員 12日 久原会員
23日 上村会員 26日 緒方会員
30日 續会員

2月6日 柳口会員

1・2月結婚記念の会員

1月8日 上原ご夫妻
2月3日 富ご夫妻 14日 豊岡ご夫妻
18日 三枝崎ご夫妻 21日 坂本ご夫妻
22日 瀧田ご夫妻

2月23日の例会	3月2日の例会
休会	
VSOP今年度累計	201,250円

連続出席表彰

2年 西崎会員・飛石会員・瀧上会員
5年(通) 市野会員 9年 松嶋会員

会長の時間 鶴田会長

みなさんこんにちは。久しぶりにお顔を拝見する方もいらっしゃると思いますが、本日は昨年12月22日猪俣先生から卓話をいただいた時以来の今年最初の通常例会となります。

さて前回12月22日の通常例会の時点ですでにコロナ感染者は増加傾向にあったのですが、年末年始を経て感染者の数は激増し、1月8日に東京を中心とした他3県に、さらに1月14日に栃木県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵

出席報告 豊岡会員				欠席会員名		マークアップ済会員名
本日の出席	会員総数	45名	出席率	稲本・岡村・坂本・園川・中道・		清田
	出席会員数	25名		續・藤永・瀧田・松岡・三枝崎・		
	当日分マークアップ済会員	1名		沼田・宮田・守田・柳口・山口・		
	計	26名	60.35%	山本・上村		
	計			計	17名	1名
1/26の修正	1/26の出席会員数	名		前回補填会員名	休会	
	補填会員数	名				
	計	名	%			
昨年	月出席会員数	名	%			計 名
他出席マークアップ済会員名	出席免除：西田会員・鮫島会員					計 0名

庫県、福岡県に緊急事態宣言が発令され、いまだ一部の県以外はさらに延長となっています。熊本県におきましても患者数の激増により県独自の緊急事態宣言が発令されました。飲食店等の時短要請等の甲斐あってか、このところ患者数は減少し、現在、条件は少し緩和されています。

しかしながら相変わらず新規感染者は全国的に出ています。先日、国際ロータリー第2720地区硯川ガバナーから連絡があり3月14日の地区大会開催方法をライブ配信開催のみで行い、前日の行事も晩餐会も含めてすべて中止にするとの報告がありました。また6月に台湾で開催予定でしたロータリー年次大会も中止となり、全世界におけるコロナ感染症の影響はいまだとどまることを知りません。

また年末年始からの患者の増加に伴うコロナ感染症に対応する医療関係者、特に当クラブの会員であられます猪俣先生のご苦勞、気苦勞はいかほどのものだったかと思えます。できましたらこのまま静かに新規のコロナ感染者の数が減少し、ベッド数の不足や医療従事者の離職などにより医療崩壊を起こすことなく、これまで通りご活躍いただければと願っています。

当クラブにおきましても、3月は9日(火)に創立45周年記念例会、23日(火)に米山奨学生、許瀛さんの送別会と2つ夜間例会を計画しています。それまでに新型コロナ感染が落ち着くように、また八代の夜の街が以前のように活気を取り戻すように祈念申し上げまして、会長の時間とさせていただきます。

幹事報告 谷川幹事

1. 例会取り止め・変更

- 熊本南RC 2月8日(月)はコロナウイルス感染リスクレベル5の発表を受け、取り止め。
- 熊本城東RC
2月8日・2月15日(月)は、コロナ禍により取り止め。
2月22日(月)はクラブ指定の休会
3月1日(月)はZoom例会
- 熊本東南RC 2月10日・17日(水)は熊本県の緊急事態宣言延長により取り止め。17日(水)は解除があれば開催。
- 熊本北RC 2月18日(水)は定款による取り止め。

- 八代北RC 2月12日・19日・26日(金)は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い取り止め。
- 熊本県暴力追放運動推進センターより資料
- 八代人権同和教育推進協議会より資料
- 台湾台北国際大会は、バーチャルでの開催。
- 地区大会は3月14日(日)のライブ配信開催のみで、前日の行事は晩餐会を含めすべて中止となりました。
- ロータリー財団の寄付の領収書、会費のお願いが各自の棚に入っています！

スマイルBOX 里委員長

市野・神蘭・西崎・上原・下田・前田の各会員：

本日は、米山奨学生 許瀛さんが出席する最後の例会です。コロナ禍で思うような交流ができなかったのが残念です。また再会できることを祈念してスマイルします。

前田・久原の両会員：誕生祝ありがとうございました。

緒方会員：誕生祝ありがとうございました。いよいよ数えの80代傘寿を迎えました。あと4～5年もてば、いいかな！その時は八代南RCも50年になり、ちょうどきりが良いのでは、と密かに思ってます。

鶴田会長・宮川・緒方・淵上・里・市野・前田・豊岡・中川・神蘭・藤崎・久原・湊・西崎・下田・富の各会員：久方ぶりの例会の開催、おめでとうございます。皆様に会えて嬉しいです。八代市はコロナ0人ですので今後も皆で頑張らしましょう。

青少年奉仕委員会 富委員長

インターアクト活動

- 1月30日 代陽小キッズ・フラワー・プロジェクト
- 2月7日 八代城跡回り清掃

卓話 米山記念奨学会とは 市野会員

- 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会とは
日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給して支援する民間の奨学団体。
◎日本の全ロータリー地区が共同で作成運営する奨学財団。
・「米山記念」と米山梅吉氏の名前を冠していますが、米山家の資産をもとに作られた財団ではありません。

- ・米山記念奨学会の財源は、全国のロータリアンからの寄付金であり、理事会は全34地区から選出された理事で構成されています。

◎奨学金の支給対象は、日本の大学・大学院で学ぶ外国人留学生。

- ・毎年、全国で800人以上の私費外国人留学生を採用しています。（日本人留学生の派遣は行っていません）

2. 米山記念奨学会のあゆみ

◎60年以上の歴史を持つ日本のロータリー独自の国際奨学事業。

- ・1952年、日本で最初に設立されたクラブである東京ロータリークラブが、日本のロータリーの創始者と呼ばれる米山梅吉氏の功績を記念して始めた国際奨学事業が、国内の全ロータリー地区の合同事業に発展したものです。

◎2017年7月に財団設立50周年を迎えた。

- ・1967年7月1日、文部省（現在の文部科学省）の許可を得て、財団法人米山記念奨学会が設立され、その後新公益法人制度が施行されたことに伴い2012年1月4日付で、「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」としてスタートしました。

3. 米山記念奨学事業の特徴

“日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となり、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する”それが、米山記念奨学事業の使命。

◎事業の真髄：世話クラブ・カウンセラー制度。

- ・奨学生一人ひとりに、地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれ、さらにその会員の中からカウンセラーが付いて、奨学生との交流を深め、彼らの日本での生活が心豊かなものになるよう配慮しています。
- ・奨学生は、毎月1回以上、世話クラブの例会に出席し、会員との交流によって日本の社会を知り、ロータリークラブについて学びます。また、通常その例会出席の際に奨学金を受け取ります。

◎民間最大の国際奨学事業。

- ・2020年度の奨学生採用数は883人。外国人留学生を支給する民間奨学団体は数多く存在しますが、多くの奨学団体の採用数は年間数名から数十名規模で、ロータリー米山記念奨学会の採用規模は突出しており、国内では民間

最大規模の国際奨学事業です。これまでの累計奨学生数は21,624人（2020年7月現在）、その出身国は世界129の国と地域に及びます。

◎国際ロータリーの認める多地区合同活動。

- ・米山記念奨学事業は、日本の全ての地区が関わる「多地区合同活動」として、『ロータリー章典』の定める全ての手続を完了しています。

4. 米山学友の活躍

◎巣立った学友は2万人超。多くの学友がアジアを中心に活躍。

- ・母国に戻ってその発展に尽くす人、母国と日本の懸け橋として活躍する人、世界平和と国際理解のために後見する人など、米山学友は様々な活躍をしています。

◎米山学友を中心に設立されたクラブは、台湾に2つ、日本に3つ。

- ・台北東海RC（1995年創立、公用語は日本語）
- ・台中文心RC（2007年創立、公用語は中国語）
- ・東京米山友愛RC（2010年創立）
- ・東京米山REクラブ2750（2012年創立）
- ・さいたま大空RC（2013年創立、財団学友と米山学友によって構成）

◎米山学友会は、国内に33、海外に9つ設立。

- ・学友会とは、学友と現役奨学生によって組織される米山記念奨学生の同窓会組織で、奨学期間終了後も地区と連携しながら、ロータリアンと学友が継続して交流を深めるイベントや、様々な地域奉仕活動を企画し、活動しています。
- ・海外には、台湾、韓国、中国、タイ、ネパール、モンゴル、スリランカ、マレーシア、ミャンマーの9つの米山学友会があります。
- ・正式な学友会ではありませんが、ベトナムには米山学友ネットワークがあり、主にホーチミン市で奉仕活動を行っています。
- ・最近では、他の地区や海外の米山学友会とも交流して、協同で奉仕活動を行うなど、米山学友会同士が国や地区を越えて横の連携を図っています。

5. 米山記念奨学会への寄付について

◎米山への寄付には「普通寄付金」と「特別寄付金」の2種類がある。

- ・「普通寄付金」半期に一度、各クラブで決まった1人分の金額を会員数分納める寄付のこと。

- ・「特別寄付金」任意で行う寄付で、個人寄付・法人寄付・クラブ寄付の3種類がある。寄付金の累計額に応じた表彰制度があります。
- ※表彰品が不要な場合、辞退することが可能です。

6. 地区別寄付実績

- ◎寄付が増えると、地区で採用できる奨学生の数が増えます。
- ・各地区あたり奨学生を何人採用できるかは、概ね地区の寄付関連指標の全国比によって決定され、各地区の「寄付金総額」(50%)、「個人平均寄付額」(30%)、「特別寄付者割合」(10%)、「有資格者数」=米山奨学金の対象となる留学生数(10%)の各要素の全国比によって算出されます。
- ・2019~2020年度の平均寄付額は1人あたり15,055円(9,837円)、特別寄付者割合の全国平均は45.8%(49.2%)でした。(括弧内は2720地区の実績)



1・2月誕生祝の会員



1・2月結婚記念の会員



米山奨学生 許瀛君

第12回理事会 議事録

日時：2月9日(火)

会場：八代グランドホテル

出席者：鶴田・谷川・神菌・富・洲上・緒方・塚本・前田・飛石の各会員

- ・IDMについて→2月は実施しない。
- ・米山世話クラブについて→2021年度は応募しない。
- ・夜間例会について
 - ①45周年記念例会(3/9)→基隆東RCとZoomでつなげる。会費は無料。家族も無料。
 - ②許瀛君送別会→3月23日、ホワイトパレスにて開催
 - ③お花見例会→4月9日、葵にて開催
- ・インターアクトクラブ活動について
 - ①毎月第一日曜日に奉仕活動をする。出席者はメイキャップとなる。
 - ②5月の第一日曜日(2日)を懐良親王陵の清掃日とする。悟真寺で例会は行わない。例会は通常通り(火)グランドホテルで行う。
- ・地区大会について→インターアクト設立についてインターアクト会長に話してほしい。13:30くらいから。



連続出席表彰



卓話 市野会員